

第5節 水質関係

(1) 生活環境の保全に関する環境基準*

ア 河川（湖沼を除く）

(ア)

項目 類型	利用目的の適応性	基 準 値				
		水素イオン濃度(pH)*	生物化学的酸素要求量(BOD)*	浮遊物質(SS)*	溶存酸素量(DO)*	大腸菌数*
AA	水道1級 自然環境保全 及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	20CFU /100mL以下
A	水道2級 水産1級 水浴 及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上	1,000CFU /100mL以下
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	—
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/L以上	—
該当水域	全公共用水域*のうち、水域類型ごとに指定する水域					
備考	<p>1 基準値は、日間平均値とする。ただし、大腸菌数に係る基準値については、90%水質値（年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べた際の0.9×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値（0.9×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。））とする。</p> <p>2 水道1級を利用目的としている地点（自然環境保全を利用目的としている地点を除く。）については、大腸菌数100CFU/100mL以下とする。</p> <p>3 大腸菌数に用いる単位はCFU（コロニー形成単位（Colony Forming Unit））/100mLとし、大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出する。</p>					

- ※1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
- ※2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 - ◇ 2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 - ◇ 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- ※3 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 - ◇ 2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 - ◇ 3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

- ※4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 - ◇ 2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 - ◇ 3級：特殊の浄水操作を行うもの
- ※5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(イ)

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全 亜 鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩 (LAS)
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.0006mg/L以下	0.02mg/L以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.05mg/L以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.04mg/L以下
該当水域	全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域			
備考	基準値は、年間平均値とする。			

イ 湖沼（天然湖沼及び貯水量が1,000万立方メートル以上であり、かつ、水の滞留時間が4日間以上である人工湖）
（ア）

項目 類型	利用目的の適応性	基 準 値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD) *	浮遊物質濃度 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数
AA	水道1級 水産1級 自然環境保全 及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L以下	1mg/L以下	7.5mg/L以上	20CFU /100mL以下
A	水道2、3級 水産2級 水浴 及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	5mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下
B	水産3級 工業用水1級 農業用水 及びCの欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	15mg/L以下	5mg/L以上	—
C	工業用水2級 環境保全	6.0以上 8.5以下	8mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/L以上	—
該当水域	全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域					
備考	<p>1 基準値は、日間平均値とする。ただし、大腸菌数に係る基準値については、90%水質値（年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べた際の0.9×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値（0.9×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。））とする。</p> <p>2 水産1級、水産2級及び水産3級については、当分の間、浮遊物質濃度の項目の基準値は適用しない。</p> <p>3 水道3級を利用目的としている地点（水浴又は水道2級を利用目的としている地点を除く。）については、大腸菌数1,000CFU/100mL以下とする。</p> <p>4 大腸菌数に用いる単位はCFU（コロニー形成単位（Colony Forming Unit））/100mLとし、大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出する。</p>					

- ※1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
- ※2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 - ◇ 2、3級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- ※3 水産1級：ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 - ◇ 2級：サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産3級の水産生物用
 - ◇ 3級：コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用
- ※4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 - ◇ 2級：薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの
- ※5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(イ)

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全磷
I	自然環境保全 及びⅡ以下の欄に掲げるもの	0.1mg/L以下	0.005mg/L以下
Ⅱ	水道1、2、3級（特殊なものを除く。） 水産1種 水浴及びⅢ以下の欄に掲げるもの	0.2mg/L以下	0.01mg/L以下
Ⅲ	水道3級（特殊なもの） 及びⅣ以下の欄に掲げるもの	0.4mg/L以下	0.03mg/L以下
Ⅳ	水産2種 及びⅤの欄に掲げるもの	0.6mg/L以下	0.05mg/L以下
Ⅴ	水産3種 工業用水 農業用水 環境保全	1mg/L以下	0.1mg/L以下
該当水域	全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域		
備考	1 基準値は、年間平均値とする。 2 水域類型の指定は、湖沼植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある湖沼について行うものとし、全窒素の項目の基準値は、全窒素が湖沼植物プランクトンの増殖の要因となる湖沼について適用する。 3 農業用水については、全磷の項目の基準値は適用しない。		

- ※1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
- ※2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの（「特殊なもの」とは、臭気物質の除去が可能な特殊な浄水操作を行うものをいう。）
- ※3 水産1種：サケ科魚類及びアユ等の水産生物用並びに水産2種及び水産3種の水産生物用
水産2種：ワカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用
水産3種：コイ、フナ等の水産生物用
- ※4 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(ウ)

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩 (LAS)
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.0006mg/L以下	0.02mg/L以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.05mg/L以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.04mg/L以下
該当水域	全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域			
備考	基準値は、年間平均値とする。			

(エ)

項目 類型	水生生物が生息・再生産する場の適応性	基準値
		底層溶存酸素量
生物1	生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域	4.0mg/L以上
生物2	生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域	3.0mg/L以上
生物3	生息段階において貧酸素耐性の高い水生生物が生息できる場を保全・再生する水域、再生産段階において貧酸素耐性の高い水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域又は無生物域を解消する水域	2.0mg/L以上
該当水域	全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域	
備考	基準値は日間平均値とする。	

(2) 地点別BOD75%値と環境基準達成率の推移 (過去5年間)

○：環境基準達成 ×：環境基準非達成

水域名	番号	基準点	地点名	類型	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
荒川下流 (1)	1	○	笹目橋	C	3.1	○	3.3	○	2.1	○	3.9	○	4.1	○
荒川中流	3	○	治水橋	A	1.7	○	1.1	○	1.2	○	1.5	○	1.4	○
	4	○	開平橋		1.7		0.9		1.3		1.4			
	6	○	久下橋		1.3		0.8		1.0		1.0			
荒川上流 (2)	7	○	正喜橋	A	1.3	○	0.5	○	0.9	○	0.8	○	1.0	○
	8	○	親鼻橋		0.6		< 0.5		0.8		0.7			
荒川上流 (1)	9	○	中津川合流点前	AA	0.5	○	< 0.5	○	< 0.5	○	< 0.5	○	0.6	○
芝川	10	○	八丁橋	D	4.4	○	3.1	○	4.2	○	3.7	○	4.9	○
	12	○	山王橋		2.8		3.1		2.1		4.2		3.4	
鴨川	18	○	中土手橋	C	3.4	○	3.4	○	3.4	○	3.4	○	2.9	○
入間川下流	20	○	入間大橋	A	3.1	×	1.3	○	2.6	×	2.1	×	3.5	×
	21	○	落合橋		1.1		0.6		0.9		1.0		1.2	
入間川上流	25	○	給食センター前	A	0.5	○	0.6	○	< 0.5	○	< 0.5	○	0.5	○
越辺川下流	26	○	落合橋	B	4.0	×	1.9	○	4.4	×	2.6	○	3.4	×
越辺川上流	27	○	今川橋	A	0.7	○	0.6	○	0.6	○	0.8	○	0.9	○
都幾川	29	○	東松山橋	A	1.1	○	< 0.5	○	0.6	○	0.7	○	0.9	○
槻川	31	○	兜川合流点前	B	0.9	○	0.7	○	0.9	○	0.8	○	0.8	○
高麗川	33	○	高麗川大橋	A	0.9	○	< 0.5	○	0.5	○	0.6	○	0.7	○
小畔川	35	○	とげ橋	B	2.2	○	1.1	○	2.4	○	1.5	○	2.0	○
霞川	36	○	大和橋	B	0.8	○	0.7	○	0.8	○	0.9	○	1.0	○
成木川	37	○	成木大橋	A	0.5	○	0.5	○	0.5	○	< 0.5	○	0.6	○
市野川下流	38	○	徒歩橋	C	6.1	×	2.3	○	4.1	○	4.7	○	3.8	○
市野川上流	39	○	天神橋	B	1.8	○	2.0	○	2.0	○	2.6	○	2.9	○
和田吉野川	41	○	吉見橋	B	1.6	○	1.3	○	2.1	○	2.4	○	2.3	○
赤平川	42	○	赤平橋	AA	0.5	○	< 0.5	○	0.5	○	0.7	○	0.7	○
横瀬川	43	○	原谷橋	A	0.7	○	0.6	○	0.7	○	1.0	○	1.0	○
中川中流	46	○	八条橋	C	2.2	○	2.8	○	2.5	○	2.3	○	3.1	○
中川上流	48	○	豊橋	C	2.3	○	2.7	○	3.3	○	2.9	○	3.4	○
綾瀬川下流	52	○	内匠橋	C	1.8	○	3.4	○	2.5	○	2.1	○	2.4	○
綾瀬川上流	55	○	曙橋	C	2.3	○	2.3	○	2.4	○	2.5	○	2.5	○
古綾瀬川	57	○	綾瀬川合流点前	D	4.0	○	4.5	○	3.1	○	3.6	○	3.7	○
大場川	59	○	葛三橋	C	2.4	○	2.2	○	3.3	○	2.8	○	4.4	○

水 域 名	番号	基準点	地 点 名	類型	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
元 荒 川	60	○	中 島 橋	C	2.0	○	2.1	○	3.3	○	2.2	○	2.3	○
新 方 川	64	○	昭 和 橋	C	1.7	○	2.7	○	2.4	○	3.0	○	3.8	○
大落古利根川	65	○	ふ れ あ い 橋	C	2.0	○	2.5	○	2.1	○	3.5	○	2.1	○
新 河 岸 川	68	○	笹 目 橋	C	3.2	○	2.4	○	4.5	○	3.6	○	2.6	○
	69	○	い ろ は 橋		1.5		1.4		1.9		1.9		2.1	
白 子 川	71	○	三 園 橋	C	2.2	○	1.6	○	2.5	○	2.0	○	2.5	○
黒 目 川	72	○	東 橋	C	0.9	○	0.6	○	0.8	○	0.6	○	1.0	○
柳 瀬 川	74	○	栄 橋	C	2.1	○	1.9	○	1.9	○	1.3	○	1.6	○
不 老 川	77	○	不 老 橋	C	1.1	○	1.1	○	1.3	○	3.1	○	3.9	○
利 根 川 中 流	79	○	栗 橋	A	1.5	○	1.0	○	1.4	○	1.0	○	1.1	○
	80	○	利 根 大 堰		1.3		1.2		0.9		1.0		1.0	
	83	○	坂 東 大 橋		1.2		1.2		0.7		0.9		1.0	
江 戸 川 上 流	84	○	流 山 橋	A	1.0	○	1.5	○	1.2	○	1.4	○	1.4	○
福 川	87	○	昭 和 橋	B	3.5	×	5.6	×	4.9	×	2.5	○	3.0	○
小 山 川 下 流	88	○	新 明 橋	B	2.0	○	1.8	○	3.1	×	2.6	○	2.1	○
小 山 川 上 流	89	○	一 の 橋	A	1.5	○	1.4	○	2.8	×	1.6	○	2.5	×
唐 沢 川	91	○	森 下 橋	B	2.0	○	4.1	×	3.7	×	3.1	×	4.1	×
元 小 山 川	92	○	新 泉 橋	B	3.0	○	2.2	○	2.6	○	2.8	○	2.1	○
神 流 川 (3)	93	○	神 流 川 橋	A	0.8	○	1.0	○	0.9	○	1.2	○	1.2	○
神 流 川 (2)	94	○	藤 武 橋	A	1.1	○	0.9	○	1.0	○	1.1	○	1.1	○
環 境 基 準 達 成 数						40		42		38		42		40
環 境 基 準 達 成 率 (%)						91		95		86		95		91

(3) 生活環境項目*の地点別年度平均値 (令和5年度)

ア 河川

河川名	地点番号	環境基準 類型		基準点		地点名	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	全亜鉛 (mg/L)	ノニル フェノール (mg/L)	LAS (mg/L)
				一般	生物												
荒川	1	C	生物B	○	○	笹目橋	7.2	3.6	7.0	7	7.2	1200	8.6	0.40	0.020	<0.00006	0.0016
〃	2	A	生物B			秋ヶ瀬取水堰	7.8	1.6	3.4	8	9.7	60	1.9	0.088	—	—	—
〃	3	A	生物B	○	○	治水橋	7.7	1.2	3.1	8	9.2	44	1.8	0.089	0.004	<0.00006	0.0018
〃	4	A	生物B	○	○	開平橋	7.7	1.2	3.2	12	8.9	83	1.8	0.098	0.006	<0.00006	<0.0006
〃	5	A	生物B			御成橋	7.9	1.1	2.9	10	10	140	1.7	0.089	—	—	—
〃	6	A	生物B	○	○	久下橋	8.1	1.1	2.6	6	11	69	1.3	0.048	0.003	<0.00006	<0.0006
〃	7	A	生物特B	○	○	正喜橋	7.9	0.8	2.4	5	9.6	150	1.2	0.053	0.002	<0.00006	<0.0006
〃	8	A	生物A	○	○	親鼻橋	8.5	0.9	2.1	3	11	300	0.93	0.035	0.002	<0.00006	0.0006
〃	9	AA	生物A	○	○	中津川合流点前	8.0	0.6	1.2	4	11	12	0.54	0.019	0.002	<0.00006	<0.0006
芝川	10	D	生物B	○	○	八丁橋	7.6	3.3	5.7	16	6.7	760	4.6	0.29	0.017	0.00007	0.014
〃	11	D	生物B			境橋	7.6	1.6	3.6	6	7.0	770	3.2	0.19	0.037	0.00007	0.018
新芝川	12	D	生物B	○	○	山王橋	7.3	2.7	5.1	15	5.4	1700	4.5	0.29	0.018	0.00008	0.0046
藤右衛門川	13					論處橋	7.6	2.9	4.2	3	6.5	6500	4.1	0.20	0.012	<0.00006	0.014
〃	14					柳橋	7.8	1.9	3.3	6	7.0	4700	3.9	0.067	0.018	0.00009	0.018
菖蒲川	15					荒川合流点前	7.3	2.9	6.5	10	6.5	4000	7.7	0.37	0.017	0.00007	0.0013
笹目川	16					笹目樋管	7.3	2.3	5.5	7	6.3	1300	5.8	0.23	0.015	0.00006	0.0034
〃	17					市立浦和南高校脇	7.7	3.6	6.6	9	6.9	22000	3.6	0.31	0.018	0.00006	0.019
鴨川	18	C	生物B	○	○	中土手橋	7.6	2.5	4.8	15	7.9	610	2.7	0.16	0.017	0.00006	0.0084
〃	19	C	生物B			加茂川橋	7.8	2.7	5.4	13	8.0	920	3.9	0.29	0.022	0.00008	0.021
入間川	20	A	生物B	○	○	入間大橋	7.7	2.4	4.5	10	8.8	150	3.8	0.20	0.007	<0.00006	0.0009
〃	21	A	生物B	○	○	落合橋	7.9	1.1	2.6	8	10	160	2.2	0.086	0.005	<0.00006	0.0006
〃	22	A	生物B			初雁橋	7.8	1.0	2.6	5	9.5	570	2.6	0.094	0.007	<0.00006	0.0020
〃	23	A	生物B			富士見橋	7.9	1.4	2.9	4	10	900	4.0	0.19	0.011	<0.00006	0.0007
〃	24	A	生物B			豊水橋	8.0	2.0	3.3	3	10	1200	3.4	0.24	0.008	<0.00006	0.0008
〃	25	A	生物A	○	○	給食センター前	8.4	0.6	1.5	1	11	170	0.93	0.033	0.002	<0.00006	<0.0006
越辺川	26	B	生物B	○	○	落合橋	7.7	3.0	4.5	10	7.9	310	4.8	0.31	0.011	<0.00006	0.0007
〃	27	A	生物B	○	○	今川橋	8.6	0.9	2.9	3	12	140	3.6	0.27	0.005	<0.00006	0.0006
〃	28	A	生物A		○	山吹橋	8.2	0.7	2.2	2	10	110	1.2	0.059	0.002	<0.00006	0.0031
都幾川	29	A	生物B	○	○	東松山橋	7.9	0.7	1.5	3	11	92	0.89	0.016	0.002	<0.00006	0.0007

河川名	地点番号	環境基準 類型		基準点		地点名	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	全亜鉛 (mg/L)	ノニル フェノール (mg/L)	LAS (mg/L)
				一般	生物												
都 幾 川	30	A	生物A		○	川 北 橋	8.1	0.7	2.0	2	10	160	1.1	0.041	0.002	<0.00006	0.0013
槻 川	31	B	生物B	○	○	兜川合流点前	8.4	0.8	2.4	2	11	140	1.2	0.045	0.003	<0.00006	0.0031
〃	32	B	生物A		○	大内沢川合流点前	8.2	0.7	1.8	1	10	200	0.78	0.025	0.001	<0.00006	0.0007
高 麗 川	33	A	生物B	○	○	高麗川大橋	7.7	0.6	1.4	4	8.9	34	1.6	0.022	0.001	<0.00006	0.0007
〃	34	A	生物A		○	天神橋	8.2	0.7	1.4	1	10	140	0.93	0.029	0.001	<0.00006	<0.0006
小 畔 川	35	B	生物B	○	○	とげ橋	8.1	1.8	5.5	23	10	270	5.0	0.38	0.014	<0.00006	0.0007
霞 川	36	B	生物B	○	○	大和橋	8.3	0.9	3.1	3	11	360	4.7	0.14	0.008	<0.00006	0.0011
成 木 川	37	A	生物A	○	○	成木大橋	8.2	0.6	1.9	1	11	260	1.2	0.039	0.001	<0.00006	<0.0006
市 野 川	38	C	生物B	○	○	徒歩橋	8.0	3.1	7.6	15	10	850	3.8	0.48	0.018	<0.00006	0.0021
〃	39	B	生物B	○	○	天神橋	8.7	2.3	6.6	8	13	200	2.2	0.57	0.024	<0.00006	0.0038
滑 川	40					八幡橋	8.2	4.8	8.1	12	10	2300	4.1	0.50	0.007	<0.00006	0.0082
和田吉野川	41	B	生物B	○	○	吉見橋	7.5	2.0	4.6	21	9.0	1100	3.2	0.16	0.013	0.00006	0.0042
赤 平 川	42	AA	生物A	○	○	赤平橋	8.6	0.6	1.6	< 1	11	140	1.0	0.048	0.001	<0.00006	0.0008
横 瀬 川	43	A	生物A	○	○	原谷橋	8.7	0.9	2.3	1	11	200	1.9	0.072	0.002	0.00006	0.0023
中 津 川	44					落合橋	8.2	0.6	1.5	1	11	23	0.61	0.008	0.002	<0.00006	<0.0006
中 川	45	C	生物B			潮止橋	7.5	3.3	7.1	19	7.8	—	4.8	0.29	0.025	—	—
〃	46	C	生物B	○	○	八条橋	7.7	3.0	6.5	26	8.8	—	3.0	0.24	0.017	<0.00006	0.0023
〃	47	C	生物B			弥生橋	7.6	3.2	6.5	34	8.0	—	2.3	0.23	0.022	—	—
〃	48	C	生物B	○	○	豊橋	7.6	3.0	6.2	30	8.0	360	2.5	0.17	0.011	<0.00006	0.0052
〃	49	C	生物B			松富橋	7.5	2.8	6.0	23	7.9	2000	2.0	0.13	0.011	<0.00006	0.0031
〃	50	C	生物B			行幸橋	7.7	3.2	5.8	21	8.3	320	2.4	0.14	0.009	<0.00006	0.0039
〃	51	C	生物B			道橋	7.6	2.6	5.5	16	8.4	270	3.1	0.29	0.011	<0.00006	0.0037
綾 瀬 川	52	C	生物B	○	○	内匠橋	7.5	2.1	6.1	11	5.9	—	3.7	0.28	0.023	0.00007	0.0013
〃	53	C	生物B			手代橋	7.6	3.2	7.5	14	6.7	—	2.8	0.21	0.027	—	—
〃	54	C	生物B			槐戸橋	7.7	3.4	6.9	15	7.4	—	2.9	0.22	0.021	—	—
〃	55	C	生物B	○	○	啜橋	7.7	2.4	5.1	18	8.8	390	3.4	0.20	0.013	0.00006	0.012
伝 右 川	56					伝右橋	7.8	2.8	7.5	15	6.4	1700	3.5	0.58	0.064	—	—
古綾瀬川	57	D	生物B	○	○	綾瀬川合流点前	7.8	3.2	9.0	11	6.7	5900	3.2	0.29	0.062	<0.00006	0.0094
毛 長 川	58					水神橋	7.8	3.2	7.2	14	7.2	500	3.1	0.25	0.032	—	—
大 場 川	59	C	生物B	○	○	葛三橋	7.6	3.6	7.1	16	8.9	210	4.1	0.19	0.018	0.00008	0.0039
元 荒 川	60	C	生物B	○	○	中島橋	7.7	1.9	4.7	13	8.7	71	3.5	0.21	0.015	<0.00006	0.0007

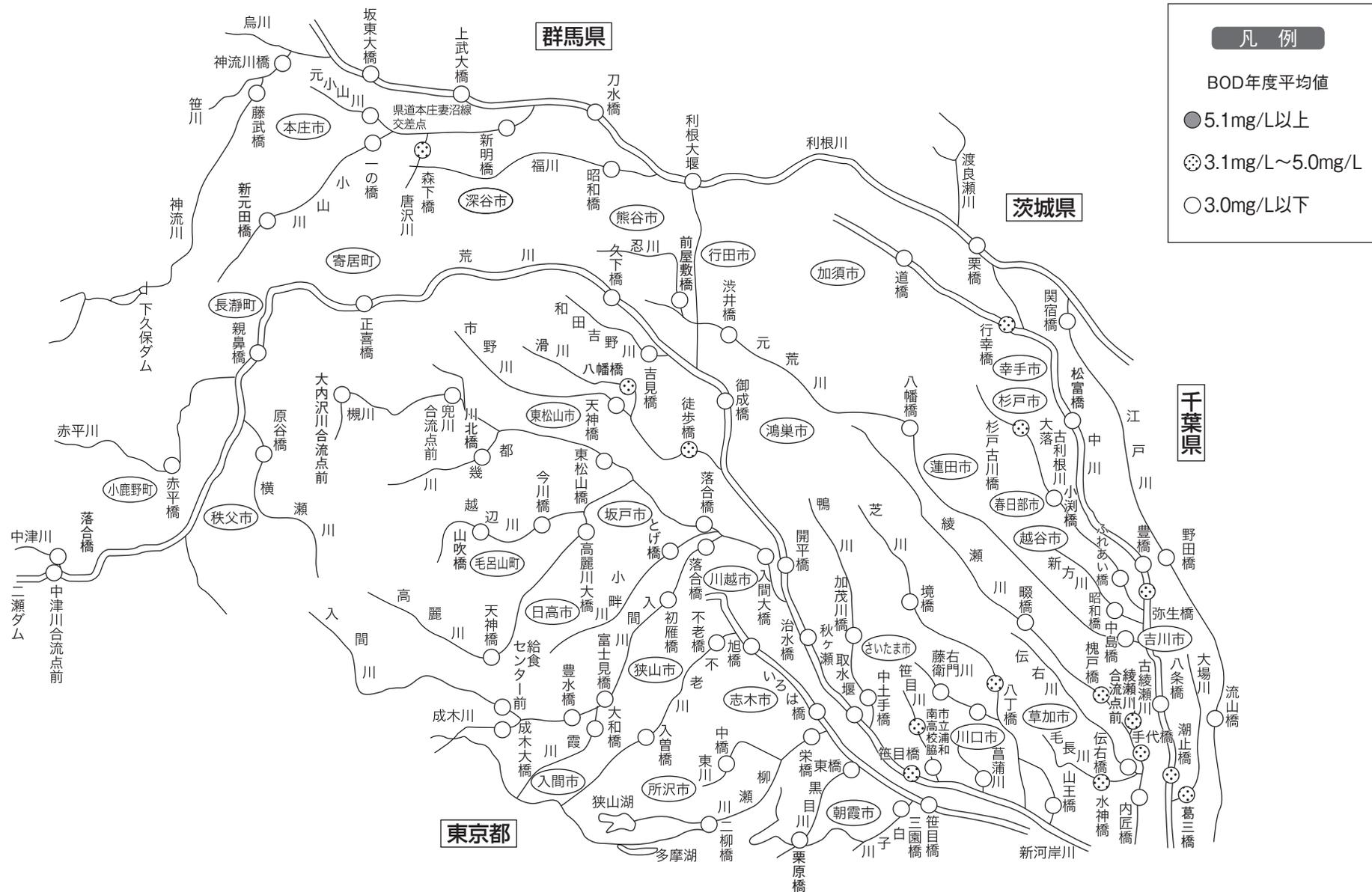
河川名	地点番号	環境基準 類型		基準点		地点名	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	全亜鉛 (mg/L)	ノニル フェノール (mg/L)	LAS (mg/L)
				一般	生物												
元荒川	61	C	生物B			八幡橋	7.5	2.6	5.4	17	8.5	200	3.8	0.32	0.012	<0.00006	0.0019
〃	62	C	生物B			渋井橋	7.5	2.2	4.3	9	7.8	430	2.1	0.17	0.007	<0.00006	0.0039
忍川	63					前屋敷橋	7.5	2.4	4.7	11	7.3	13000	1.9	0.16	0.007	<0.00006	0.0046
新方川	64	C	生物B	○	○	昭和橋	7.7	2.6	5.8	18	8.0	340	3.7	0.23	0.014	<0.00006	0.0011
大落古利根川	65	C	生物B	○	○	ふれあい橋	7.8	2.1	5.1	11	9.4	27	3.0	0.18	0.015	<0.00006	0.0006
〃	66	C	生物B			小淵橋	7.4	3.0	5.7	14	7.3	190	3.8	0.18	0.012	<0.00006	0.0040
〃	67	C	生物B			杉戸古川橋	7.5	3.4	5.9	14	7.6	750	4.5	0.26	0.013	<0.00006	0.0024
新河岸川	68	C	生物B	○	○	笹目橋	7.1	2.4	6.0	5	7.6	1900	7.5	0.51	0.024	<0.00006	0.0017
〃	69	C	生物B	○	○	いろは橋	7.1	1.9	3.7	8	7.1	1600	6.1	0.11	0.012	<0.00006	0.0032
〃	70	C	生物B			旭橋	6.9	1.1	2.8	7	7.5	9000	5.9	0.080	0.012	0.00025	0.0056
白子川	71	C	生物B	○	○	三園橋	7.3	2.6	5.2	3	7.7	9600	7.1	0.38	0.018	0.00006	0.0031
黒目川	72	C	生物B	○	○	東橋	7.7	0.8	2.1	4	11	600	4.8	0.053	0.009	<0.00006	0.0017
〃	73	C	生物B			栗原橋	7.4	0.6	1.9	3	10	200	4.2	0.022	0.005	0.00009	0.0010
柳瀬川	74	C	生物B	○	○	栄橋	7.4	1.4	5.5	4	9.1	2100	6.3	0.38	0.025	<0.00006	0.0006
〃	75	C	生物B			二柳橋	8.1	1.4	3.2	11	10	1000	2.0	0.075	0.005	<0.00006	0.0016
東川	76					中橋	7.8	2.0	5.9	3	9.6	21000	3.2	0.15	0.019	<0.00006	0.0022
不老川	77	C	生物B	○	○	不老橋	7.8	2.9	5.9	4	11	15000	5.8	0.20	0.022	0.00010	0.021
〃	78	C	生物B			入曾橋	7.7	2.6	6.2	3	8.2	—	7.7	0.21	0.026	<0.00006	0.0037
利根川	79	A	生物B	○	○	栗橋	7.6	1.0	3.0	10	9.2	30	2.1	0.10	0.016	<0.00006	0.0008
〃	80	A	生物B	○	○	利根大堰	7.6	0.9	2.8	9	9.2	88	2.0	0.11	0.010	<0.00006	0.0010
〃	81	A	生物B			刀水橋	7.6	1.0	2.9	10	9.7	120	2.0	0.11	0.016	—	—
〃	82	A	生物B			上武大橋	7.6	0.9	2.6	9	10	110	1.5	0.073	0.010	—	—
〃	83	A	生物B	○	○	坂東大橋	7.7	1.0	2.9	8	9.8	120	1.7	0.087	0.010	<0.00006	0.0007
江戸川	84	A	生物B	○	○	流山橋	7.7	1.2	3.4	15	9.5	140	2.0	0.12	0.007	<0.00006	<0.0006
〃	85	A	生物B			野田橋	7.7	1.1	3.4	13	9.5	35	1.8	0.12	0.005	—	—
〃	86	A	生物B			関宿橋	7.6	1.2	3.5	13	9.5	110	2.0	0.12	0.006	—	—
福川	87	B	生物B	○	○	昭和橋	7.4	2.8	4.2	7	7.3	6700	4.2	0.19	0.012	<0.00006	0.0041
小山川	88	B	生物B	○	○	新明橋	8.2	2.0	4.4	15	11	240	2.8	0.20	0.010	<0.00006	0.0018
〃	89	A	生物B	○	○	一の橋	8.1	2.1	4.8	6	11	290	2.0	0.17	0.005	<0.00006	0.0011
〃	90	A	生物A		○	新元田橋	8.0	0.6	2.2	2	10	140	0.71	0.020	0.001	<0.00006	<0.0006
唐沢川	91	B	生物B	○	○	森下橋	8.1	3.5	5.7	11	10	210	3.4	0.27	0.009	<0.00006	0.0049

河川名	地点番号	環境基準類型		基準点		地点名	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	全亜鉛 (mg/L)	ノニル フェノール (mg/L)	LAS (mg/L)
				一般	生物												
元小山川	92	B	生物B	○	○	新泉橋	7.7	2.6	5.1	10	9.9	4100	7.6	0.43	0.029	0.00007	0.026
神流川	93	A	生物A	○	○	神流川橋	8.8	1.0	2.2	7	11	36	0.73	0.020	0.001	<0.00006	<0.0006
〃	94	A	生物A	○	○	藤武橋	8.6	1.0	2.1	5	11	45	0.88	0.018	0.001	<0.00006	0.0006
平均							7.8	1.9	4.3	9.7	9.0	1800	3.1	0.18	0.013	0.00008	0.0044

イ 湖沼

水域名	地点番号	環境基準類型		基準点		地点名	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	全亜鉛 (mg/L)	ノニル フェノール (mg/L)	LAS (mg/L)	底層DO (mg/L)
				一般	生物												
下久保ダム 貯水池	L1	湖沼AⅢ	湖沼生物A	○	○	湖心	7.8	1.9	3	6.6	4.1	0.83	0.012	0.001	<0.00006	<0.0006	4.2
二瀬ダム 貯水池	L2	湖沼AⅢ	湖沼生物A	○	○	湖心	7.5	1.7	10	8.3	4.0	0.45	0.011	0.002	<0.00006	<0.0006	5.4
荒川 貯水池	L3	湖沼AⅢ		○		湖心	8.4	5.0	6	8.6	18	0.85	0.034	—	—	—	6.0
平均							7.9	2.9	6.3	7.8	8.7	0.71	0.019	0.002	<0.00006	<0.0006	5.2

(4) 河川水質状況 (令和5年度)



(5) BODの値からみた主要河川の地点別汚濁状況

ア BOD年度平均値の低い10地点

順位	河川名	地点名	BOD年度平均値 (mg/L)		
			令和5年度	令和4年度	令和3年度
1	荒川	中津川合流点前	0.6	① 0.5	① <0.5
	入間川	給食センター前	0.6	① 0.5	⑨ 0.6
	高麗川	高麗川大橋	0.6	⑥ 0.6	② 0.5
	成木川	成木大橋	0.6	⑥ 0.6	② 0.5
	赤平川	赤平橋	0.6	⑥ 0.6	② 0.5
	中津川	落合橋	0.6	⑥ 0.6	② 0.5
	黒目川	栗原橋	0.6	① 0.5	② 0.5
	小山川	新元田橋	0.6	⑥ 0.6	⑨ 0.6
9	越辺川	山吹橋	0.7	⑥ 0.6	⑨ 0.6
	都幾川	東松山橋	0.7	⑬ 0.7	⑨ 0.6
	都幾川	川北橋	0.7	⑥ 0.6	⑨ 0.6
	槻川	大内沢川合流点前	0.7	① 0.5	② 0.5
	高麗川	天神橋	0.7	① 0.5	② 0.5

※ 丸数字は各年度の順位（水質の良い順）

イ BOD年度平均値の高い10地点

順位	河川名	地点名	BOD年度平均値 (mg/L)		
			令和5年度	令和4年度	令和3年度
1	滑川	八幡橋	4.8	② 4.4	② 4.1
2	荒川下流(1)	笹目橋	3.6	⑨ 3.0	④③ 1.9
	笹目川	市立浦和南高校脇	3.6	⑱ 2.6	⑥ 3.6
5	大場川	葛三橋	3.6	⑤ 3.3	⑦ 3.4
	唐沢川	森下橋	3.5	⑮ 2.7	⑫ 2.9
6	綾瀬川上流	槐戸橋	3.4	⑱ 2.6	⑳ 2.3
	大落古利根川	杉戸古川橋	3.4	⑭ 2.8	⑳ 2.2
8	芝川	八丁橋	3.3	④ 3.6	④ 3.7
	中川中流	潮止橋	3.3	⑨ 3.0	⑨ 3.1
10	中川上流	弥生橋	3.2	⑳ 2.0	⑳ 2.1
	中川上流	行幸橋	3.2	⑱ 2.6	⑮ 2.6
	綾瀬川下流	手代橋	3.2	⑫ 2.9	⑱ 2.5
	古綾瀬川	綾瀬川合流点前	3.2	⑮ 2.7	⑪ 3.0
	毛長川	水神橋	3.2	㉔ 2.3	⑮ 2.6

※ 丸数字は各年度の順位（水質の悪い順）

(6) 湖沼水質調査結果 (令和5年度)

【 夏 季 】

湖沼名	採取年月日	採取時刻	天候	気温(℃)	水温(℃)	全水深(m)	透明度(m)	色 相	濁り	pH	DO(mg/L)
玉 淀 湖	R5.8. 1	10:05	曇り	29.2	28.7	—	1.83	無色透明	無し	9.2	11
円良田湖	R5.8. 1	10:40	曇り	25.8	29.1	12.52	1.60	淡黄白色透	無し	8.9	9.0
間瀬湖	R5.8. 1	11:35	曇り	28.2	30.1	14.36	2.40	無色透明	無し	8.7	9.1
鎌北湖	R5.8.22	9:30	晴れ	28.3	29.9	13.45	1.92	無色透明	無し	8.2	9.8
宮沢湖	R5.8.22	8:10	晴れ	29.0	29.4	7.78	0.77	淡黄色濁	有り	9.5	13
柴山沼	R5.8.22	11:20	晴れ	32.8	31.4	3.90	2.00	無色透明	無し	8.4	11
山ノ神沼	R5.8.22	12:05	小雨	27.3	30.5	1.30	0.35	中黄緑色濁	有り	8.1	6.8
湖沼名	COD (mg/L)	SS (mg/L)	導電率 (mS/m)	全窒素 (mg/L)	アンモニア性 窒素(mg/L)	亜硝酸性窒素 (mg/L)	硝酸性窒素 (mg/L)	有機性窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	りん酸性りん (mg/L)	クロロフィルa (μg/L)
玉 淀 湖	2.9	2	15	0.60	<0.1	<0.05	0.39	0.06	0.037	0.01	11
円良田湖	6.2	2	16	0.45	<0.1	<0.05	<0.05	0.26	0.030	<0.01	12
間瀬湖	5.1	1	13	0.48	<0.1	<0.05	0.17	0.10	0.020	<0.01	7
鎌北湖	4.3	1	12	0.82	<0.1	<0.05	0.52	0.32	0.014	<0.01	8
宮沢湖	6.9	7	12	0.86	<0.1	<0.05	0.23	0.59	0.036	<0.01	39
柴山沼	3.7	1	21	0.62	<0.1	<0.05	0.27	0.34	0.013	<0.01	9
山ノ神沼	24	27	24	2.3	<0.1	<0.05	<0.05	2.2	0.22	<0.01	150

※1 各湖沼とも表層水(水面下0.5m)を採取した。

※2 玉淀湖はボートが使用できなかったため、全水深は未測定。

【 冬 季 】

湖沼名	採取年月日	採取時刻	天候	気温(℃)	水温(℃)	全水深(m)	透明度(m)	色 相	濁り	pH	DO(mg/L)
玉 淀 湖	R6.2.13	10:15	晴れ	9.9	6.1	—	—	無色透明	無し	8.1	11
円良田湖	R6.2.13	11:00	晴れ	8.8	6.6	12.15	2.32	無色透明	無し	7.8	12
間瀬湖	R6.2.13	11:55	晴れ	10.1	6.5	14.44	2.90	無色透明	無し	7.8	11
鎌北湖	R6.2.20	9:30	晴れ	14.7	9.4	19.29	2.80	無色透明	無し	8.0	12
宮沢湖	R6.2.20	8:25	晴れ	14.4	10.7	8.00	2.00	無色透明	無し	8.0	11
柴山沼	R6.2.20	11:00	晴れ	19.2	12.4	3.33	2.15	無色透明	無し	8.1	10
山ノ神沼	R6.2.20	11:45	晴れ	21.1	15.6	1.04	0.40	濃黄緑色濁	有り	10.1	15
湖沼名	COD (mg/L)	SS (mg/L)	導電率 (mS/m)	全窒素 (mg/L)	アンモニア性 窒素(mg/L)	亜硝酸性窒素 (mg/L)	硝酸性窒素 (mg/L)	有機性窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	りん酸性りん (mg/L)	クロロフィルa (μg/L)
玉 淀 湖	2.5	2	20	1.5	<0.1	<0.05	1.1	0.26	0.044	0.03	5
円良田湖	4.4	2	17	0.86	0.1	<0.05	0.37	0.35	0.020	<0.01	10
間瀬湖	3.9	1	13	0.84	0.1	<0.05	0.34	0.39	0.022	<0.01	13
鎌北湖	3.6	1	13	1.1	<0.1	<0.05	0.71	0.34	0.023	<0.01	18
宮沢湖	4.9	1	16	1.0	0.3	<0.05	0.22	0.42	0.025	<0.01	17
柴山沼	5.3	4	26	0.58	<0.1	<0.05	<0.05	0.44	0.034	<0.01	8
山ノ神沼	27	13	20	3.7	0.2	<0.05	<0.05	3.5	0.29	<0.01	440

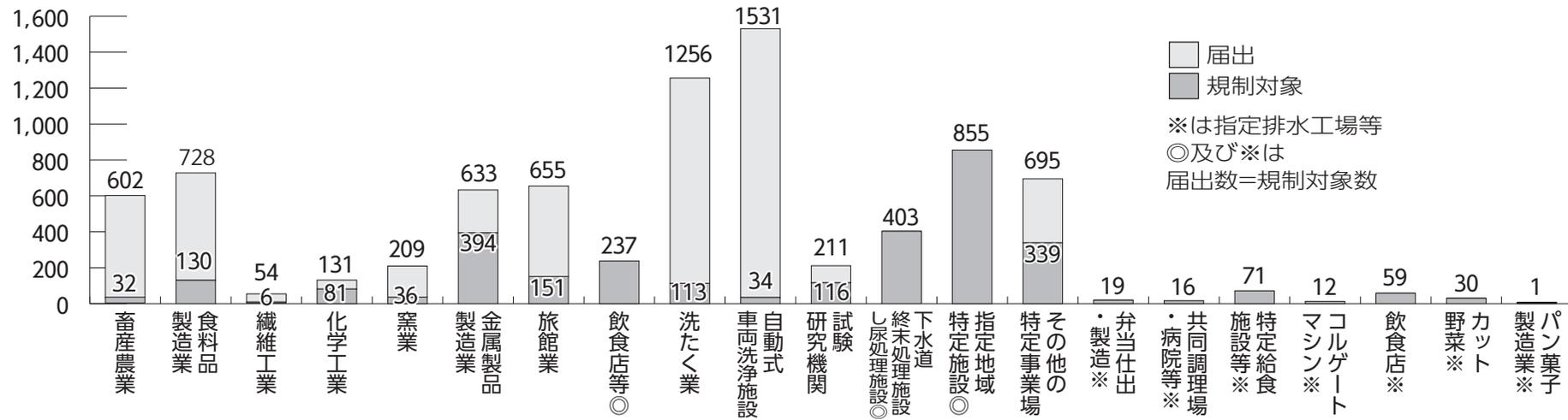
※1 各湖沼とも表層水（水面下0.5m）を採取した。

※2 玉淀湖はダム工事の関係で全水深、透明度は未測定。

(7) 県全域 BOD発生負荷量総括表（令和3年度）

区 分		基礎データ (フレーム)	排水量 (m ³ /日)	BOD負荷量 (kg/日)	構成比 (%)		
					構成比 (%)	前年度比 (kg/日)	
生活系	下水処理場	5,879 千人	1,616,027	4,143	7.2	294	
	合併処理浄化槽* (501人槽以上)	87 ♪	29,082	157	0.3	▲ 76	
	合併処理浄化槽 (201~500人槽)	21 ♪	4,388	97	0.2	▲ 4	
	合併処理浄化槽 (200人槽以下)	750 ♪	210,119	11,256	19.6	128	
	単独処理浄化槽 (501人槽以上)	0 ♪	0	0	0.0	0	
	単独処理浄化槽 (201~500人槽)	0.1 ♪	13	1	0.0	▲ 0	
	単独処理浄化槽 (200人槽以下)	546 ♪	46,923	2,483	4.3	▲ 187	
	し尿処理場	75 ♪	3,932	13	0.0	4	
	その他	23 ♪	0	0	0.0	0	
	雑排水	643 ♪	124,739	23,790	41.5	▲ 1,606	
小 計		7,380 ♪	2,035,222	41,941	73.2	▲ 1,448	
産業系	下水処理場	27 件	165,380	427	0.7	48	
	規制対象事業場	1,938 ♪	227,903	1,866	3.3	▲ 615	
	その他事業場	10,807 ♪	63,120	5,346	9.3	▲ 39	
	小 計	12,772 ♪	456,404	7,639	13.3	▲ 605	
畜産系	下水処理場	27 件	0	0	0.0	0	
	規制対象畜舎	5 百頭	72	9	0.0	▲ 20	
	その他の畜舎	牛	260 ♪	2,339	1,663	2.9	4
		豚	842 ♪	1,136	1,684	2.9	▲ 70
		馬	12 ♪	108	77	0.1	0
小 計	1,119 ♪	3,655	3,432	6.0	▲ 86		
その他系	下水処理場	27 件	292,877	718	1.3	▲ 154	
	山林	119,781 ha	—	1,009	1.8	0	
	水田	32,514 ♪	—	286	0.5	0	
	その他 (畑・果樹園を含む)	227,484 ♪	—	2,275	4.0	0	
	小 計	379,779 ♪	292,877	4,287	7.5	▲ 154	
合 計		—	2,788,158	57,299	100	▲ 2,293	

(8) 特定事業場・指定排水工場等の業種内容（令和5年度・政令市等を含む）



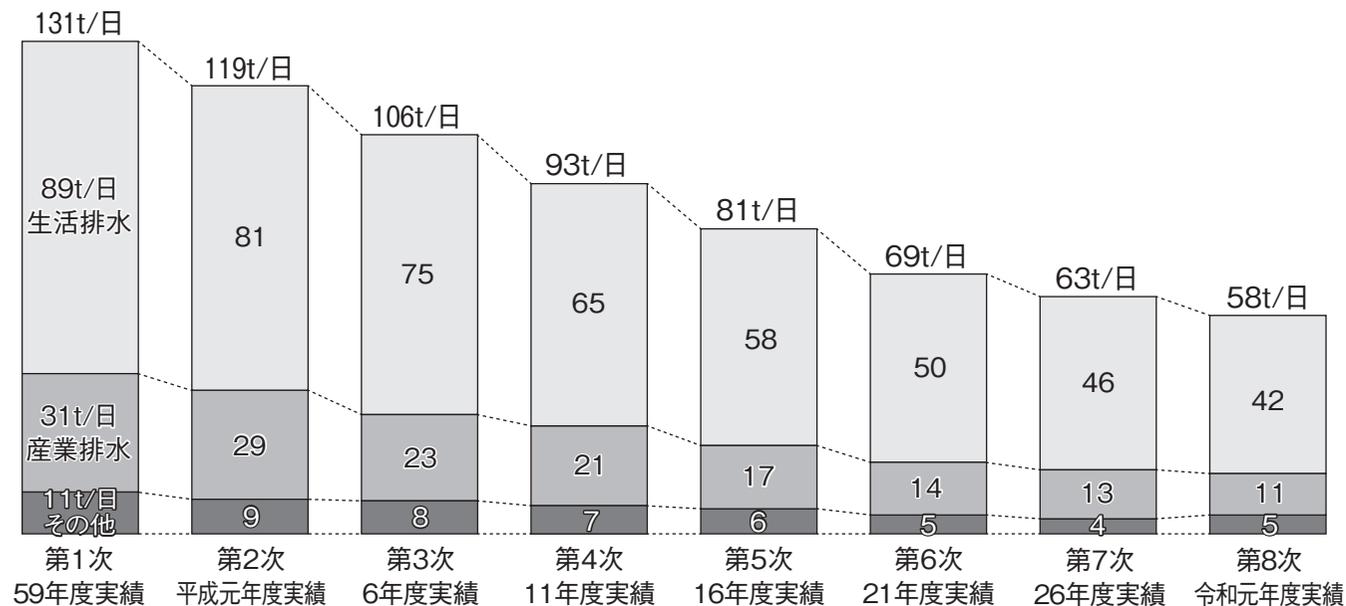
(9) 埼玉県における総量規制*

① 指定地域（太線枠内）（令和6年4月1日現在）

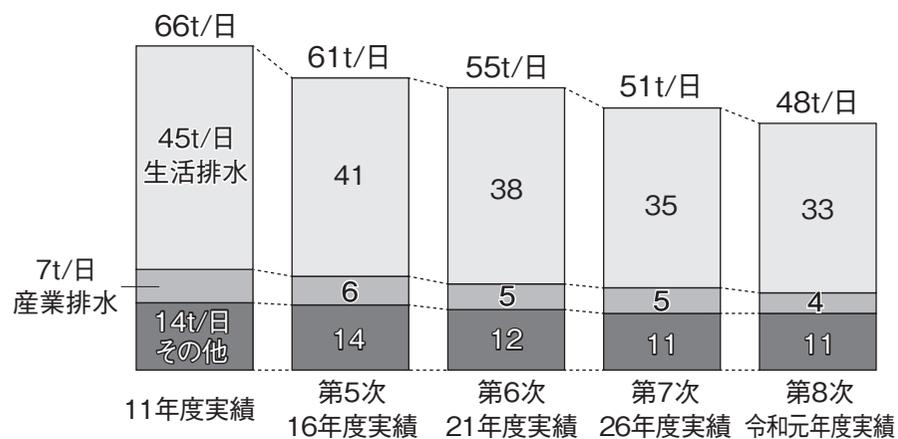
全域が指定地域となる市町村	(52)
一部が指定地域となる市町 (熊谷市、行田市、秩父市、加須市、深谷市、皆野町、美里町、寄居町)	(8)
全部が指定地域から除外される市町 (本庄市、神川町、上里町)	(3)



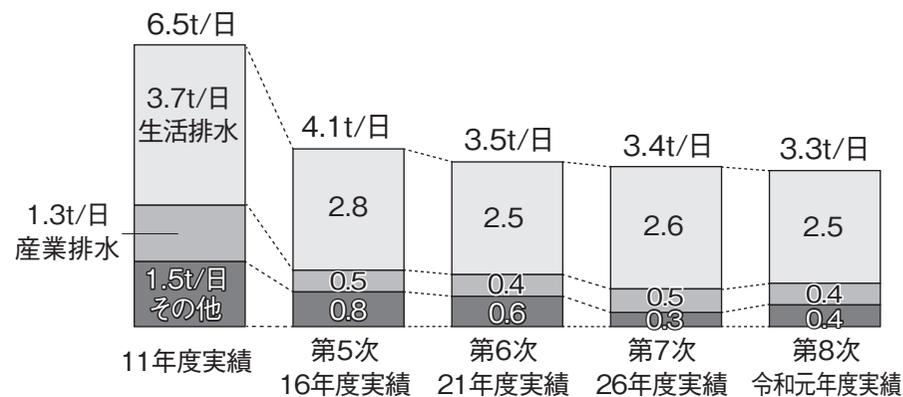
②化学的酸素要求量



③窒素含有量



④りん含有量



(10) 排水基準超過に対する行政措置状況（令和5年度）

	立入検査件数	排水検査件数	排水基準超過件数	行政措置				
				一時停止命令	改善命令	改善勧告	注意	その他
県	941	401	33 (8.2%)	0	1 (0.2%)	0	33 (8.2%)	0
政令市等	995	936	150 (16.0%)	0	0	0	150 (16.0%)	0
合計	1,936	1,337	183 (13.7%)	0	1 (0.1%)	0	183 (13.7%)	0

※（ ）内は排水検査件数に対する同欄件数の割合

※ 令和4年度の排水基準超過に対する行政措置を令和5年度に行ったため、超過件数とその右欄の合計数は一致しない

(11) 生活排水対策重点地域*の指定状況（令和6年4月1日現在）

流域名	関連流域市町村	生活排水対策重点地域指定年月日	生活排水対策推進計画策定年月	生活排水対策推進協議会設置年月
不老川流域	川越市、所沢市、狭山市、入間市	平成3年8月9日	第1次 平成4年3月 第2次 平成19年3月 第3次 平成29年3月	平成5年4月
元小山川流域	本庄市、上里町	平成4年7月6日	平成5年3月	平成5年10月
中川上流域	加須市、羽生市、久喜市	平成6年3月10日	平成7年3月	平成8年3月
赤平川流域	秩父市、小鹿野町	平成12年9月6日	平成14年3月	平成14年11月
荒川上流域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町	平成14年2月18日	平成15年3月	平成15年11月
槻川・都幾川上流域	嵐山町、小川町、ときがわ町、東秩父村	平成14年12月19日	平成16年3月	平成17年2月

(12) 浄化槽*設置基数及び浄化槽整備事業の推移

	浄化槽設置基数			浄化槽整備事業（県費補助）		
	総設置基数（基）	うち合併処理浄化槽（基）	合併処理浄化槽の割合（%）	市町村数	補助基数（基）	補助額（千円）
26年度	525,960	219,782	41.8	47*37	1,088	378,272
27年度	508,794	223,200	43.9	46*37	1,170	419,063
28年度	501,876	228,976	45.6	49*37	1,151	392,936
29年度	501,636	233,739	46.6	49*37	1,099	373,989
30年度	481,088	233,124	48.5	49*37	1,053	357,232
令和元年度	476,727	237,206	49.8	48*37	1,021	262,362
令和2年度	470,907	239,161	50.8	49*37	876	226,295
令和3年度	468,912	242,745	51.8	47*37	806	186,233
令和4年度	473,506	247,375	52.2	49*37	726	168,529
令和5年度	473,776	251,255	53.0	47*37	597	138,037

*37 皆野・長瀬下水道組合含む

(13) 下水道普及状況

		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
整備 状況	処理人口(万人)	501	511	518	526	533	542	548	553	567	573
	処理面積(km ²)	586	599	608	622	633	644	654	665	673	679
処理人口普及率(%)		71.6	72.9	73.5	74.5	75.2	76.1	76.7	77.4	77.9	78.6
処理面積整備率(%)		15.4	15.8	16.0	16.4	16.7	16.9	17.2	17.5	17.7	17.9

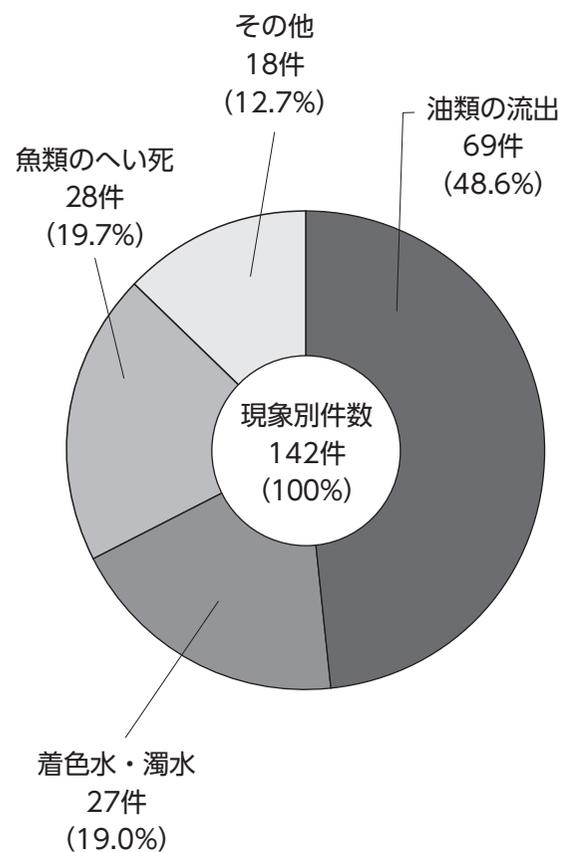
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
整備 状況	処理人口(万人)	579	584	590	595	599	605	609	612	613	616
	処理面積(km ²)	688	694	703	709	716	722	728	735	740	744
処理人口普及率(%)		79.2	79.7	80.3	80.8	81.2	81.9	82.4	82.9	83.2	83.6
処理面積整備率(%)		18.1	18.3	18.5	18.7	18.9	19.0	19.2	19.3	19.5	19.6

(15) 流域下水道の計画と現況（令和6年3月31日現在）

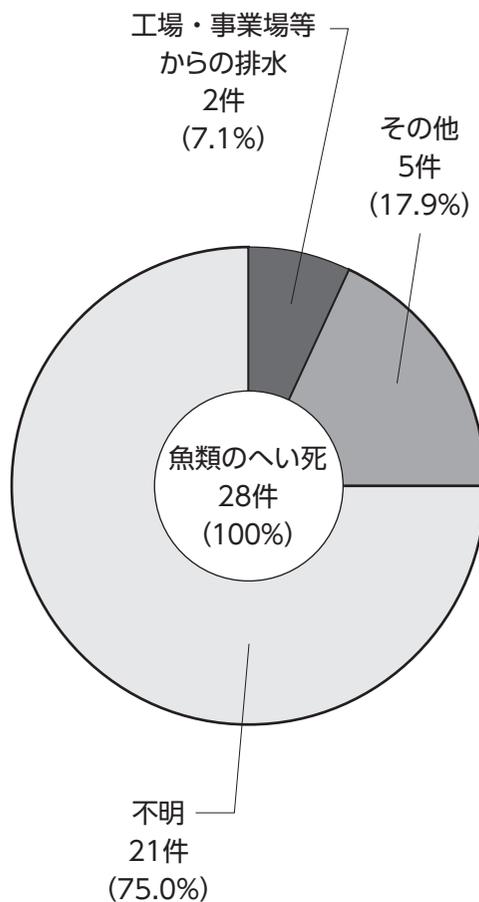
流域名	項目 処理場	事業着手 年月日	処理開始 年月日	全 体 計 画		現 況		
				処理能力 (m ³ /日)	処理区域内 人口 (人)	処理能力 (m ³ /日)	処理水量 (m ³ /日)	処理区域内 人口 (人)
荒川左岸南部	荒川水循環センター	昭和42年 3月27日	昭和47年 10月1日	882,800 8系列	1,737,930	955,800 8系列	642,203	2,000,659
荒川左岸北部	元荒川水循環センター	昭和46年 12月13日	昭和56年 4月1日	233,100 5系列	434,300	166,200 3.5系列	135,769	338,271
荒川右岸	新河岸川水循環センター	昭和46年 12月13日	昭和56年 4月1日	789,900	1,574,090	697,900 5系列	500,907	1,645,577
	新河岸川上流水循環センター	—	平成18年 4月1日			34,200 1系列	34,316	
中川	中川水循環センター	昭和48年 3月29日	昭和58年 4月1日	765,000 14系列	1,454,000	613,200 9系列	431,488	1,434,035
古利根川	古利根川水循環センター	昭和52年 9月17日	昭和58年 4月1日	88,220 4系列	129,010	69,800 3系列	39,793	110,974
荒川上流	荒川上流水循環センター	昭和61年 3月15日	平成4年 4月1日	16,600 3系列	25,520	10,601 1.5系列	6,197	20,823
市野川	市野川水循環センター	平成元年 10月3日	平成6年 4月1日	22,800 4系列	42,200	17,600 3系列	12,547	38,823
利根川右岸	小山川水循環センター	平成17年 3月14日	平成21年 4月1日	41,400 3系列	60,549	30,000 2系列	15,094	55,954
計	—	—	—	2,839,820	5,457,599	2,595,301	1,818,314	5,645,116

※ 処理水量は、5年度実績（日平均）であり、計欄は、各流域処理水量（m³/日）の合計値である。

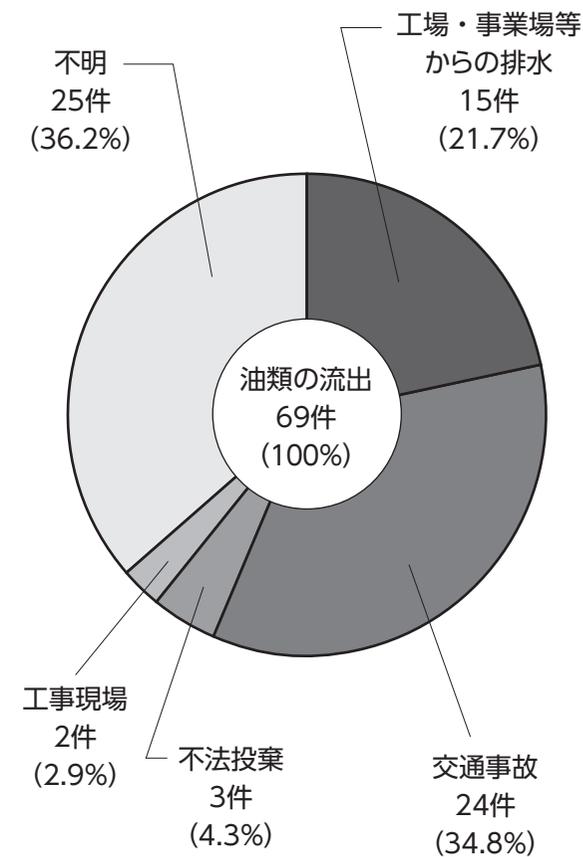
(16) 異常水質事故の現象別発生件数（令和5年度）



(17) 異常水質事故における魚類のへい死の発生原因内訳（令和5年度）



(18) 異常水質事故における油類の流出の発生原因内訳（令和5年度）



※ 端数処理により、合計が合わない場合がある。

(19) 県内の雨水・再生水利用施設の設置年度別新規設置数

施設区分	設置年度	H24 まで	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	計
1. 雨水のみ利用		486	12	37	16	5	11	5	6	7	1	0	586
2. 建物から発生した排水を自家処理し、再利用		42	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	43
3. 複数の建物から発生した排水を一つの処理施設で浄化し、再利用		16	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	21
4. 下水処理場で処理した下水再生水を利用		18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
計		562	12	39	16	7	13	5	6	7	1	0	668

令和5年度全国水需給動態調査（国土交通省）

（R5.3月末時点）

※ 2.及び3.は雨水と再生水を併用している施設を含む

(20) 県内の雨水・再生水利用施設の利用目的別件数

施設区分	利用目的	水洗トイレ	散水	冷却・ 冷房	洗車・ 洗浄・ 清掃	修景	消防	その他	施設数
1. 雨水のみ利用		303	316	14	81	16	25	37	792
2. 建物から発生した排水を自家処理し、再利用		37	9	8	8	4	0	0	66
3. 複数の建物から発生した排水を一つの処理施設で浄化し、再利用		21	0	0	1	0	0	0	22
4. 下水処理場で処理した下水再生水を利用		2	1	14	17	2	0	4	40
合 計		363	326	36	107	22	25	41	920

令和5年度全国水需給動態調査（国土交通省）

（R5.3月末時点）

※ 複数の用途に使用している施設が多く、雨水・再生水利用施設数と利用目的別件数の合計は一致しない。

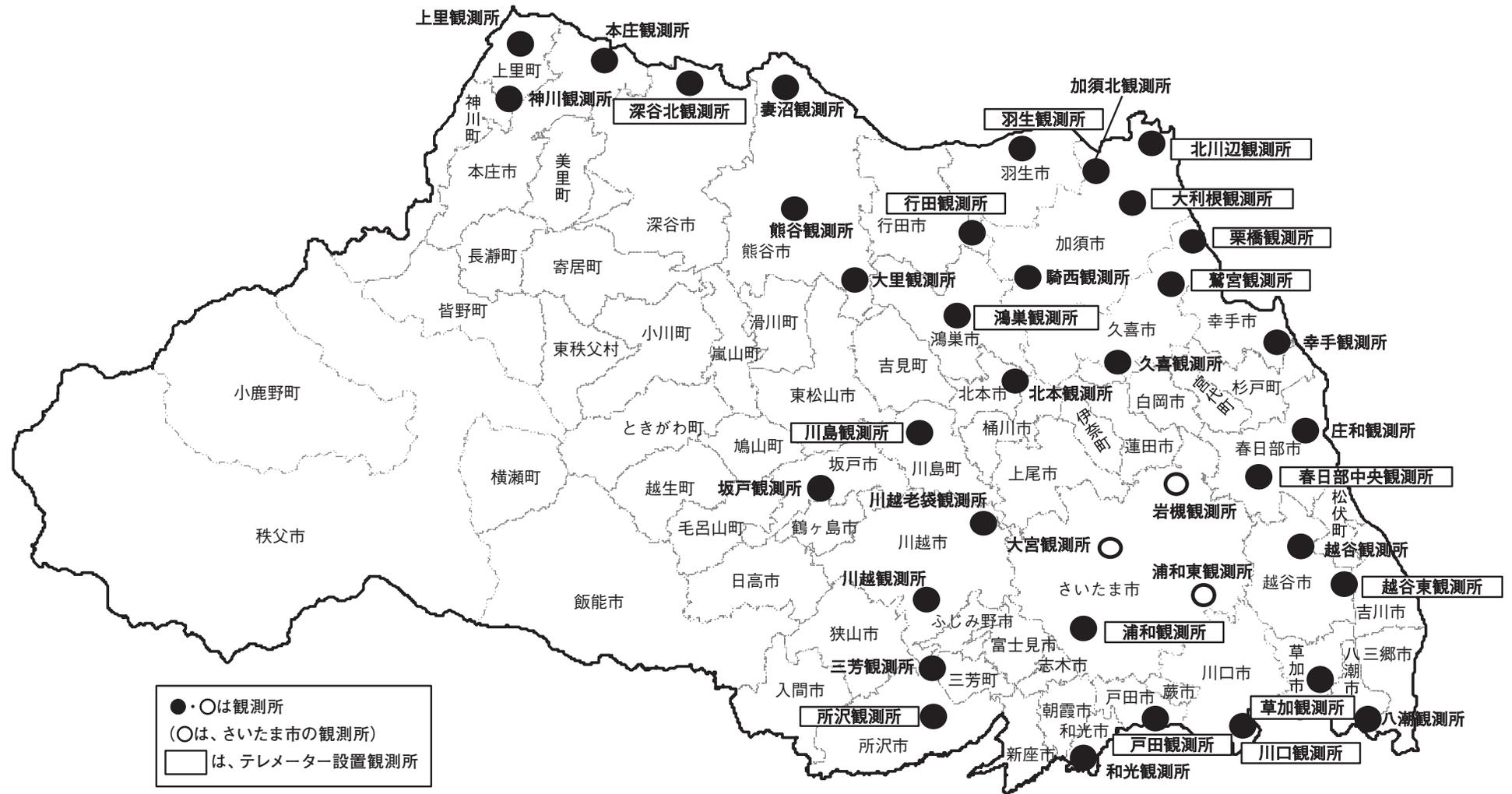
(21) 地域別地下水採取量

(単位：千m³/日)

	令和5年							
	水道用	建築物用	工業用	農業用	水産業	非常災害	その他	計
東部地域	43.2	3.6	7.6	0.2	0.0	0.1	2.3	57.0
中央部地域	103.4	4.8	19.5	6.7	0.0	0.7	5.9	141.0
西部地域	104.4	11.2	31.5	36.1	3.4	0.0	4.7	191.3
北東部地域	44.0	2.9	15.8	12.1	1.7	0.0	6.1	82.6
比企地域	23.5	0.8	3.7	0.1	0.0	0.0	0.9	29.0
北部地域	125.6	2.6	40.2	10.0	3.7	7.7	3.6	193.4
計	444.1	25.9	118.3	65.2	8.8	8.5	23.5	694.3
	64.0%	3.7%	17.0%	9.4%	1.3%	1.2%	3.4%	100.0%

- ※1 水道用採取量は、条例に基づく採取量報告を集計した。規制対象外の地域については、採取量の提供を受けて集計した。
- ※2 建築物用採取量は、条例又は建築物用地下水の採取の規制に関する法律に基づく採取量報告を集計した。
- ※3 工業用採取量は、条例又は工業用水法に基づく採取量報告を集計した。規制対象外地域については、経済構造実態値を用いた。
- ※4 農業用、水産業、非常災害、その他の用途の採取量は、条例に基づく採取量報告を集計した。
- ※5 さいたま市（さいたま市生活環境の保全に関する条例）、川口市、草加市、戸田市、八潮市については、各市による集計結果を用いた。
- ※6 四捨五入の関係により合計が合わない場合がある。

(22) 地盤沈下・地下水位観測所分布図（令和6年4月1日現在）



(23) 年間最大沈下量 経年変化

年次	年間最大沈下量 (cm)	観測市町村	年次	年間最大沈下量 (cm)	観測市町村	年次	年間最大沈下量 (cm)	観測市町村	
昭和36年	18.7	川口市	昭和57年	5.3	久喜市(旧栗橋町)	平成15年	2.5	所沢市	
37年	23.6		58年	5.2	久喜市(旧鷲宮町)	16年	4.7	越谷市	
38年	20.8		59年	6.0	久喜市(旧栗橋町)	17年	1.8	久喜市(旧栗橋町)	
39年	18.8		60年	5.6		18年	1.9	加須市(旧大利根町)	
40年	18.5		61年	4.7		19年	2.7		
41年	15.6		62年	4.8		20年	1.1	所沢市	
42年	16.5		63年	5.4		21年	1.6		
43年	16.0		戸田市	平成元年		4.6	22年	2.4	加須市
44年	13.8		草加市	2年		4.4	23年	12.5 ^{*38}	
45年	20.9		朝霞市	3年		4.2	24年	2.3	幸手市
46年	19.4	新座市	4年	4.7		加須市(旧北川辺町)	25年	2.3	加須市
47年	23.8	所沢市	5年	3.2		久喜市(旧鷲宮町)	26年	1.2	
48年	25.2		6年	4.8	27年		1.0	川越市	
49年	27.2		7年	4.4	越谷市	28年	1.8	加須市	
50年	14.7		8年	4.0	久喜市(旧栗橋町)	29年	1.2		
51年	14.1		9年	3.4	越谷市	30年	1.6	久喜市	
52年	9.8		10年	2.4		令和元年	1.4	本庄市	
53年	12.5		久喜市(旧鷲宮町)	11年	3.3	久喜市(旧鷲宮町)	2年	1.1	加須市
54年	9.6		久喜市(旧鷲宮町・旧栗橋町)	12年	2.9		3年	1.1	日高市
55年	7.9		久喜市(旧鷲宮町)	13年	2.2	越谷市	4年	1.0	深谷市
56年	6.7			14年	2.4	加須市(旧北川辺町)	5年	2.1	さいたま市

*38 平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動による地盤沈下の影響が大きいため参考値とする。

